

日本形成外科学会新データベースシステムにおける入力注意事項

1. 患者番号(院内管理コード)の登録が必要です。この患者番号は病院の患者IDをそのまま用いてはいけません。しかし、登録者が患者の識別を可能とするような患者番号の設定を否定するものではありません（連結可能匿名化）。
2. 入力されたデータには、医師の承認が必要です。
 - (ア)ステータスが「完了 (承認済)」になっているデータが「登録完了」したデータとなります。「完了 (未承認)」は登録完了ではありません。
 - (イ)入力締め切り期限までは、同一施設の医師であれば承認後もステータスを変更して内容を変更できます。
3. 症例入力は医師以外のクランクなども入力が可能です。
 - (ア)医師以外の入力者（クランクなど）は、あらかじめ uminID を取得し、登録者として登録が必要です。
 - (イ)旧システムに搭載予定のアップロード機能により登録された症例も、追加項目を登録の上、各々の症例に対して医師の承認が必要となりま

す。

4. 新たに、指導医・術者・助手の登録が必要になります。

(ア) 指導医は学会認定の指導医という意味ではなく、その手術を指導した

医師のことを指します。不在の場合は入力する必要はありません。

(イ) 術者は一手術に一人のみの登録になります。

(ウ) 助手は複数名（最大 99 名まで）登録でき、登録された医師の経験症例

として設定されます。

5. 特定の手技を行った場合のみ必要な追加項目があります（必要時のみ表示

されます）。

(ア) 全層・分層植皮術を選択した場合に、採皮部位を選択する必要があります。

ます。

(イ) 骨移植関連手技を選択した場合に、採骨部位を選択する必要があります。

す。

6. 14 日後以降に予後項目を入力する画面が表示される手技、疾患がありま

す。その場合は、予後項目を入力しないと承認ができません。

(ア) 皮弁形成・植皮術・四肢指再接着・複合組織移植を行った場合の生着

の状態。

(イ) 全身熱傷の場合の救命の状態。

7. 入力の締め切りは、施設認定・更新申請のための入力期限（例年1月下旬）

とします。締め切り以降のデータの修正はできません。

8. 現在のところ、NCDに登録したデータは、登録した施設も含めて、検索や

閲覧などの各施設のデータベースとしての利用はできません。ご注意ください。

さい。

以上